

地域で取り組む 「北の海」厚田アクアレール水彩画展

アクアレール(Aquarelle)とは
フランス語で「水彩画」の意味です



第1回展覧会会場(厚田スポーツセンター)



第5回は道の駅石狩「あいりーど厚田」で初開催。多くの方が来場し、水彩画の魅力に触れました



厚田スケッチ散策マップ

マップは区内のスケッチポイントを紹介。厚田支所(厚田45・5)ほか、上記2次元コードからも入手できます



表彰式後の講評



第1回の審査会では中学生がボランティアとして活躍

厚田で2年に1度開かれる水彩画展は、平成24年に始まり、本年度で5回目となります。

きっかけは、16年前に厚田村が新「石狩市」になったこと。合併を機に、厚田区の住民たちは、魅力あるまちづくりを目指し、さまざまな方法を模索しました。そこで一つのアイデアが生まれます。

「厚田の風景を、誰もが子どものころに描いたことのある水彩画でPRできないだろうか」

展覧会を開き、地域住民が優れた芸術・文化に触れ、豊かな人間性を育むことで新たな気づき・発見を生み、地域づくりにつながれば…そんな夢が話し合っただけで広がっていきましました。こうして平成22年12月に発足したのが、地域住民と市の協働による「厚田アクアレール実行委員会」です。

初回、水彩画展に寄せられた作品は146点。以後も毎回100点を超える応募作品が道内外から届きます。テーマは「北の海」。でも、実行委員には熱い思いがありました。「いつかはテーマを厚田だけにして作品を募りたい」

この夢に向け、実行委員会の挑戦は続きます。

おひとり暮らし等

無料

安心登録サービス事業が始まります!

元気なうちに緊急連絡先や終活情報などを登録することで、万が一の時に関係機関や終活事業所などの指定する方からの照会に対し、登録情報を開示するサービスです。



こんな方はぜひご登録ください!

自分が急に倒れたり、亡くなったら誰が遠方の家族に連絡してくれるのだろう…

葬儀会社と生前契約をしたけれど、急に亡くなったら誰が連絡してくれるの?



- ❖ 病気・事故の救急搬送時や亡くなった場合など、警察署・消防署・医療機関や指定された方から照会があった場合に、緊急連絡先や終活情報をお伝えします
- ❖ 安否確認ができない・入院した・亡くなったなどの情報を、緊急連絡先や指定の方にお伝えします
- ❖ 情報が古くならないよう、登録内容に変更がないか年に1回、情報更新のご連絡をします

対 おおむね65歳以上の独居高齢者^{など}

※同居家族がいても疾病、障がいなどで緊急時対応に不安がある場合も対象となる場合あり

申 成年後見センター〔(社福)石狩市社会福祉協議会〕☎72・2941 来所相談は要予約

ほかにもこんな事業があります!

緊急通報サービス事業

健康に不安を抱える70歳以上のひとり暮らしの方を対象に、自宅に緊急通報装置を取り付け、急病や事故などの「もしもの場合」にボタンを押すだけで受信センターにつながり、救急車を要請したり、近所の協力員が駆けつけたりするサービスです。

市民税が課税されている世帯は3,000円の利用負担があります。

☎ 高齢者支援課
☎72・7014



愛の合鍵預かり事業

高齢や障がい・病気などにより自宅での生活に不安を感じる方が安心できるように、ご自宅の鍵をお預かりして、異変があると思われるときなどに訪問し、安否確認をします。

町内会や民生委員など地域の皆さんや、鍵を保管する協力機関(医療機関や福祉施設)のご協力の下、地域における「つながり」の構築の役割も果たしています。

☎ (社福)石狩市社会福祉協議会
☎72・8184

エンディングノート「私らしく」

もしも認知症などで、自分の考えを伝えるのが難しくなったら? そんな時に備え、自分の意思を記入しておくことができるノートです。

自分が望む医療・介護・葬儀などを記入できます。

下記で無料配布中!



☎ 成年後見センター(りんくる1階)
☎72・2941